



かわらばん vol.9

徳島県若者サポートステーション
ジョブスタとくしま
2011年10月発行



最近涼しくなりましたね。みなさん体調をくずしてはいらっしゃいませんか？残暑も過ぎいよいよ秋らしくなってきましたね。

秋といえば、運動食欲の秋という方も多いと思いますが、今回は読書の秋、というよりも思慮の秋をお薦めしてみたいと思います。読書の秋、というのは読書に向いている気候だからだと思うのですが、それは同時に物思いに耽るのにも向いている季節のように思えます。庭や公園の草木を眺めながら、旬のものを見ながらボーっと過ごす。それは、意味のないようで多分最高の贅沢なのでしょう。しかし動きたいのに動かずにいるとストレスになるので、無理にじつとして過ごすというわけではありません。



何かを見たとき、フッと物思いに耽る感覚。

それは、その何かに意識を向けなければ起きません。色づく景色や変わりゆくものに、少し意識をむけてみてはどうでしょうか？（結城）

職場実習

介護の職場で実習を行っていた方に感想をうかがいました。約1ヶ月間、週に3～5回ほど実習をされていたそうです。

今回、介護の仕事を体験させていただきました。最初は緊張し、利用者さんにどう接したらよいのか悩みました。一人ひとりの名前や好み、注意すべき点などを覚えるのが大変でした。

しかし職員の方に仕事を教わり、利用者さんと会話させていただくうちに、自然と少しずつわかるようになってきました。その時にやりがいを感じ、仕事に対しても自信がついてきたように思います。



▲ 実習の様子

嬉しかったのは介助させていただいた時に利用者さんの皆さんのがみれた事と、私の名前を呼んでくださった事です。

実習は大変でしたが、とても中身の濃い充実した毎日を過ごすことができました。私も多くのことを学び、成長できたと思います。このような良い機会をありがとうございました。（松尾）